



日本学術会議シンポジウム  
**「科学技術立国の礎」**  
**—日本の計測・観察技術を再興する—**  
<http://www.scj.go.jp/ja/event/pdf/33-s-3-3.pdf>



**主催** 日本学術会議 科学・技術の発展のための知覚情報取得技術の強化に関する検討分科会  
**後援** 文部科学省、理化学研究所フロンティア研究システム  
**協賛** 旭硝子財団、北野精機、島津製作所、日本電子、浜松ホトニクス、日立製作所、日立ハイテクノロジーズ、ユニソク

**日時** 平成19年5月10日(木) 12:45 ~ 18:15 (交流会:18:30~20:00)  
**場所** 日本学術会議講堂(東京都港区六本木7-22-34)

<http://www.scj.go.jp/ja/other/info.html>

**参加費** 無料(交流会(はあといん乃木坂)は有料(3,000円))

科学研究の推進には先端的な計測・分析機器は必要不可欠な存在である。日本が誇るものづくりを影から支え続けた世界最先端の観測技術が、今、危機にさらされている。当講演会では、バイオから材料まで第一線の講師を招き、こうした科学技術の基盤に関しての諸問題を整理し、今後の日本独自の、先端的科学技術確立のための方策を探り提案する。

- |             |   |                                     |
|-------------|---|-------------------------------------|
| 12:45-13:00 | 挨拶  | 黒川 清:内閣特別顧問、元日本学術会議会長               |
| 13:00-13:15 | 開催趣旨説明  | 外村 彰:分科会委員長                         |
| 13:15-14:00 | 特別講演:カミオカンデを支えた独創技術   | 小柴昌俊:東京大学特別栄誉教授                     |
| 14:00-14:30 | 異分野融合から生まれる創造   | 田中耕一:島津製作所フェロー                      |
| 14:30-15:00 | 新材料づくりを支える計測技術  | 十倉好紀:東京大学教授                         |
| 15:00-15:15 | (休憩)  |                                     |
| 15:15-15:45 | 化学・生命科学フロンティア研究に求められる新しい分析技術  | 黒田玲子:東京大学教授                         |
| 15:45-16:15 | 生命を測ることの重要性   | 和田昭允:お茶の水女子大学理事、理化学研究所顧問、横浜こども科学館館長 |
| 16:15-16:45 | バイオ研究に生命を吹き込んだ低温観察技術  | 藤吉好則:京都大学教授                         |
| 16:45-18:15 | パネルディスカッション:科学技術立国の礎  |                                     |
|             | 司 会 二瓶好正:東京理科大学教授   |                                     |
|             | パネリスト 飯島澄男:名城大学教授、小川誠二:小川脳機能研究所所長、<br>外村 彰:日立製作所フェロー、理化学研究所、<br>難波啓一:大阪大学教授、観山正見:国立天文台台長                        |                                     |
| 18:30-20:00 | 交流会:はあといん乃木坂(東京都港区南青山1-24-4)  |                                     |
|             | <a href="http://www.hotelheart-innogizaka.com/access.html">http://www.hotelheart-innogizaka.com/access.html</a> |                                     |

参加申込:参加ご希望の方は [tomihiro.hashizume.qb@hitachi.com](mailto:tomihiro.hashizume.qb@hitachi.com) 宛に、

①お名前(とその読み仮名)、②御所属・御連絡先、③交流会出席希望の有無を4月25日(水)までにお知らせください。御連絡いただきました個人情報については本シンポジウム運営のほか、日本学術会議における調査検討に広く活用することがございます。

定員:200名(定員に余裕がある場合は当日の参加も受け付けいたします)

問合せ先:日立製作所基礎研究所 分科会幹事 橋詰富博

TEL (049)296-6111 FAX (049)296-6005

e-mail: [tomihiro.hashizume.qb@hitachi.com](mailto:tomihiro.hashizume.qb@hitachi.com)

